（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	食の伝統文化継承を目指した器具整備事業
事業主体	杉っ子
事業区分	⑹産業振興、雇用拡大　イ　農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,036,330　円（うち支援金：　2,286,000　円）

事　業　内　容

今回の事業では、業務用餅つき機を整備を行う。この整備により、当団体における生産物の生産性向上を目指します。生産性が向上することから、製品の売上増が期待され、これにより、当団体では活動に興味をもたせ、活動の場に顔を出せる方を増やし、共に活動できる方の募集を継続して行っていきます。例年10月に開催されている「やまあいフェスティバル」、3月に開催されている「福祉と健康の集い」等の村主催のイベントで、整備した餅つき機で作った製品を販売するとともに、元気づくり支援金を活用し



【やまあいフェスティバル販売風景】

事　業　効　果

①繁忙期に協力してもらえる方1人を確保でき、来年度も引き続き協力してもらえる事が確定できた。

②餅つき機が更新された事により、使い方も少し変わったことで、機械に慣れる事に今年度は専念した。次年度からは、生産性の向上を目指していく予定。

③売上は物価高騰等の影響もあり、思うように伸び悩んだが、雇用については、繁忙期時に1名の協力者を確保できた。

④地元食材を活用しているが、遊休農地の活性化に繋げるには、時間を要すため、引き続き積極的に地元食材を活用していく。

⑤来年度に向けて、学園の総合学習に伝統食講習ができるか調整中

【目標・ねらい】

①活動に対し余力をつくること。（会員以外の関係づくり）
②生産性を高めることで、生産量を増加させ、販路の拡大を目指す
③販路拡大から売上増を目指し、併せて会員の雇用に繋げる
④遊休荒廃農地の活性化へ繋げる
⑤伝統食講習や総合学習の場に講師として会員を派遣

※自己評価【　B　】

【理由】
過疎地域である当村で、担い手の確保ができた事は、団体の存続に大きな希望ができた。これにより、現会員のやる気にも繋がった。
　今後は、達成できていないものに関して引き続き取り組んでいく。

今後の取り組み

　今回の餅つき機等の整備により、団体の会員としても更に生産・販売に意欲が出た。また、協力してくれる方の確保にも繋がったことで、会員を集める事だけに注力するのではなく、コミュニティの場として楽しく過ごせる場の提供も必要であると感じた。今後は、村内の方に対して、広く周知していくように努める。

　高齢化による担い手不足は、どうしても避けられない部分ではあるので、伝統食の継承を目的とした新たな試みを考えつつ、イベント等への積極的な参加により、広く活動の周知を行っていく。